

一橋大学における グローバル化への取り組み

一橋大学経済学研究科教授・次期学長予定者
蓼沼宏一

2014年11月30日
IPP十周年記念シンポジウム

1. 一橋大学の特色と強み

(1) わが国の社会科学研究を先導する大学

- ① 実学に強み——社会の諸課題の解決・
制度改革・政策形成等に資する研究
- ② 実学の理論的基盤としての基礎・応用研究も
重視

(2) 高度な研究と一体となった良質な教育

① 少人数教育  教員と学生の距離の近さ

② 研究と教育の相乗作用

教員自身の研究経験  学生の課題発見・解決力養成

③ 学部間・研究科間の垣根の低さ

 「幅広く」かつ「深い」教養を身につけられる

(3) グローバル人材の育成で全国の大学に先行

- ① 1987年より、学生交流協定締結大学へ奨学金付きで1年間の正規留学を実施
- ② 2010年より、海外短期調査、海外インターン等を含む斬新な人材育成プログラムを開発・実施
- ③ 2013年より、海外短期語学研修を大規模試行
- ④ 英語による授業科目を拡充

2. 一橋大学の今後の重点的取り組み

研究と教育の両面でグローバル化をさらに推進し、
世界水準の教育研究拠点を形成

(1) 一橋大学社会科学高等研究院を拠点とする
研究力強化

(2) グローバル人材育成のさらなる推進

(1) 一橋大学社会科学高等研究院を拠点とする 研究力強化

① 国際共同研究を活性化

世界をリードする研究者招聘

+

本学教員にサバティカル



国際共同研究

② 重点領域プロジェクトを組織

- ・社会的に重要な課題に社会科学からアプローチ
- ・大学の枠を越えた連携による研究推進

③ 学内資源を社会科学高等研究院に重点配分



世界水準の発展が望める分野を強化

(2) グローバル人材育成のさらなる推進

育成を目指す人材像

グローバル化する世界に柔軟に対応することができ、
現代の社会に貢献し得る人材

- ・世界の人々と意思疎通ができる
- ・相互に尊重し、協力することができる
- ・世界の中の自分とは何かを知り、他者と自分の価値を共に高めていける

育成プログラムの3つの基本コンセプト

- I. 学生自身が明確な目的意識・問題意識を持って主体的に取り組むプログラムを作る
- II. 費用対効果の面で最も優れたプログラムの組合せを実現する
- III. 多様なプログラムにより、意欲と能力のある学生に海外研修の機会を出来るだけ多く与える

具体的取組み

- ① 英語コミュニケーションスキル教育をさらに推進
- ② 海外短期語学研修 or 学内短期英語集中研修
- ③ ゼミナール単位の海外調査、海外インターゼミを促進
- ④ 海外短期調査 + 学内教育プログラム

綿密な事前研究

+ 現地調査および現地の大学との合同発表・討論会

+ 事後の英文報告書作成

⑤ 海外交流協定大学を増やし、中長期の正規派遣留学を拡充

⑥ 英語による授業をさらに増加

⑦ 国際的通用性のあるカリキュラムを整備

⑧ 学部・研究科横断的な履修コースの作成

⑨ 高度専門職業人の養成を推進

APPPにおける先駆的取り組み